

平成30年度事業報告書
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1 障害福祉サービス事業全般について

平成25年4月から障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業として「就労継続支援B型事業」を開始し、障害者が日中活動を行う場として就労継続支援センター単立を運営している。

同施設では、利用者さんに対して、集団的かつ個人的サービスが提供できるように日々メリハリのある支援を心がけるとともに、利用者さんの毎日のバイタルチェック（検温・血圧・体重測定等）を行うことで職員が利用者さんの健康状態を把握し、体調不良時には迅速に対応できるよう健康管理を徹底するよう努めた。

また、就労継続支援B型事業所として、利用者さんの各々の障害特性に応じた作業の提供を行い、作業の種類や内容に応じた作業指導を心がけるほか、事業所内における生活行動全般についての指導を行った。

さらに、事業所に勤務する職員についても、利用者さんに対する支援の資質を向上させるため、徳島県や社会福祉協議会等が実施する研修に積極的に参加するようにし、様々な障害特性を持つ利用者さんに対して効果的な支援ができるようにスキルを身につける努力を行った。

2 事業の実施概要

(1) 利用定員

20名（平成31年3月末現在：利用者18名）

(2) 職員体制

- ①管理者：1名（※生活支援員を兼務）
- ②サービス管理責任者：1名
- ③支援員：4名（職業指導員2名、生活支援員2名）（※うち1名は管理者を兼務）
- ④非常勤職員：1名（職業指導員）

(3) 作業の種類及び内容

①施設内作業

造花組立作業	様々な造花の組み立て、袋詰め、ボンド付け等の作業
鍵組立作業	ドアに使用する鍵の部品作り、グリス塗り、組立作業
和紙折り作業	染めものをする和紙を様々な模様に合わせて折る作業

②施設外作業

体育館清掃作業	市立体育館（２か所）の玄関まわり・ホール靴箱・トイレ等の定期的な清掃作業（週１回及び年間清掃４回）
資源ごみ回収分別作業	地元企業（キョーエイ・マルワ環境）と協働し、キョーエイ駐車場での資源ごみの回収及び分別作業
農園芸作業	地元農家さんの協力による農作業の手伝い

（４）作業収入

- 平成３０年度収入額 ４,２５５,２２９円（平成２９年度 ４,９０２,０９６円）
利用者工賃支給額 ４,３５６,１７４円（１００,９４５円は前年度繰越分より支給）

（５）平成３０年度年間事業一覧
別紙資料（３ページ）参照

（６）地域交流事業等

- ①夏期社会適応訓練事業（７月２４日～７月２８日）
- ②地域の小中学校との交流事業（知恵島小学校、鴨島第一中学校）
- ③支援学校からの就業体験事業（国府支援高等学校）
- ④社会見学・体験学習